

令和7年度音楽科

昨年度の授業改善プランの検証

【第1段階】①授業の規律確立 ②生徒相互の協力による表現活動
③発言や意見交換の喚起 ④主体的に考え、表現する意欲喚起
上記4項目のうち、①はごく一部落ち着かない面があり、今後の課題である。③については、話し合い等や発言することを促し、少しずつ場の設定ができた。②④は今後機会を増やしていくことが必要である。

【第2段階】①教科書やプリントを有効活用し、書き込み等ポイントを記入させる
②ICTを有効活用し、主体的・協働的な活動を行う。
③主体的に考え、表現を工夫する意欲喚起
上記3項目のうち、①③はほぼ実施できた。②は効果的な活用方法を随時検討、実践していくことが必要である。

生徒の様子、学力について

分 析

＜知識・技能＞
・繰り返し学習している内容が身につけている生徒の割合も多い。一方、知識・技能の習得に苦手意識の強い生徒がなかなか身につけていない現状がある。

＜思考力・判断力・表現力＞
・合唱は意欲的に声を出そうとし、音楽記号を意識することも見られる。
・また合唱、器楽ともに基礎的な判断力、表現力が身につけている生徒が多いものの、発展的な思考力、表現力が身につけていない。

＜主体的に学習に取り組む態度＞
・まじめに取り組む生徒が多いが、一部無気力気味やあきらめの早い生徒もいる。

課 題

＜知識・技能＞
・読譜や基本的な楽典が身につくよう繰り返し学習する。
・発声練習やタンギング・指遣いを継続的に扱う。

＜思考力・判断力・表現力＞
・表現をする中で、曲想を考えていく音楽性を身につける。
・考えた曲想を、表現する力を身につける。

＜主体的に学習に取り組む態度＞
・話しあい活動や合唱などで、互いが協力できる授業の工夫。
・ICT機器を有効活用した授業の工夫。

授業改善のポイント

1年生
○合唱に必要な発声やアルトリコーダーの指遣いを身につけさせる。
○基本的な楽典の学習を繰り返し行う。
○主体的に考え、表現する活動を工夫する。

2年生
○話しあい活動や他の意見を聞き自ら考える授業を工夫する。
○発声やタンギングを身につけ、自ら考えた表現の工夫を促す。
○主体的、協働的に考え、表現する活動を工夫する。

3年生
○表現を主体的に考え、工夫する機会を増やす
○意見交換や調べ学習を生かし、主体的な活動を促す。
○主体的、協働的に考え、表現する活動を工夫する。